

2025 年度附属図書館 LA セミナー 「新入生集まれ！現役大学院生が伝える！レポートの書き方セミナー」 を開催しました！

5月9日に今年度1回目のLA企画として「レポートの書き方セミナー」が開催されました。

大学に入学したばかりの新入生にとって頭を悩ませるレポートですが、「そもそもレポートとは何なのか」「どうやって情報を集めればいいのか」、最近だと「AI を使って書いてもいいのか」など様々な疑問が出てくると思います。そんな悩みを今回のセミナーで一緒に解消できたら！という思いで開催しました。

本 Prism では、当日のイベントの様子をお届けします。

本日のタイムテーブル

17:00～17:05	はじめに （5分）
17:05～17:10	第1部「レポートとは」(5分)
17:10～17:30	第2部「レポートに取り組む際のヒント」(20分)
17:30～18:00	Q&A 編 （30分）



【レポートとは】

レポートとは個人的な感想を書き連ねるのではなく、論理的に議論を展開しなければならないことを説明した上で、レポートを書く際の文章構成やフォーマットの統一、提出期限の厳守など一見当たり前に思える内容ですが、1年生の時からこれらの基礎を徹底して身につけておくことの重要性をお伝えしました。またレポートにも4種類（論証レポート、説明レポート、実証レポート、報告レポート）があり、それぞれでレポートを書く意味合いが変わってきます。



大盛況！



「生成 AI 知ってるひとー 🙋」

【レポートに取り組む際のヒント】

ここでは、具体例（インターネット上の問題について一つ論ぜよ）を用いながら説明しました。まず第一部で取り上げたことを意識しながら、テーマの絞り込みと問いを設定します。方向性が定まってきたら情報収集を始めるのですが、その際に利用する媒体として、「書籍・論文・インターネット」の3つがあります。書籍に関しては、まずは大学図書館に所蔵している本を探すのが効率的なので、筑波大学蔵書検索 OPAC を利用して見つけにいきます。さらに本を探す際のコツとして、該

当する本の「周辺も探してみる」ということも大切です。そして実際に書き始める際は序論・本論・結論の構成を意識しましょう。近年話題の生成 AI の活用については、第一に大学が出しているガイドラインを遵守することが重要で、AI がテーマ設定の際などに有効活用できる点を示しながらも、一方で AI が出す情報の信憑性などにも触れながら説明しました。

【Q&A セッション】

全体での質疑応答のあと、数人ずつのグループに分かれて質問を受け付けました。私が担当した所では、「レポート提出期限が短く、参考文献を読みきれない時はどうしたら良いか」など、具体的な質問をたくさん頂きました。そのような際は、まず文献の目次をみて必要な情報が書いてある章を中心に见ることや、一つの文献よりも複数の文献から多角的に考察するなどのコツをお伝えしました。



「一緒に考えましょう！」

【さいごに】

当日は予想を大幅に上回り、最多 88 名もの方にご参加をいただきました。開始直前には用意していた席数や資料が足りないなど、少し慌ただしかったのですが図書館職員の方々が臨機応変にご対応して下さい、無事大成功に終わりました。参加者の皆様からは「悩みが解消された」「AI の使い方を知れてよかった」「直接質問出来てよかった」などの感想を頂きました。ご参加いただいたセミナーが、少しでもレポートを書く際の助けとなっていたらうれしいです。今回参加できなかった方や、他にもご質問したい事などあればご遠慮なく LA デスクにお越しくださいね！

(文責：LA IEKI)

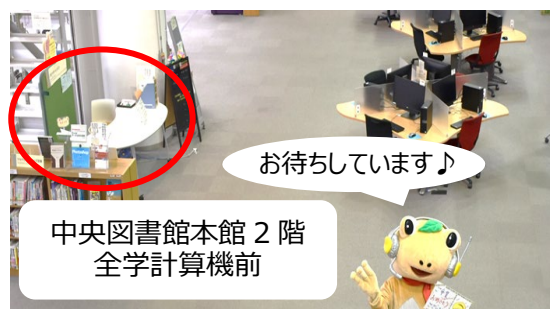


学生サポートデスクで相談してみよう！

大学院生である LA が、筑波大生の皆さんの学習や大学生活の悩みをサポート！！

皆さんと対話を通して一緒に考え、LA 自身の経験に基づいて精一杯アドバイスします

学生サポートデスクの
詳細や予約はこちら→



中央図書館本館 2 階
全学計算機前